

ケーアイエスの「CHECK-UPS」を核に 特定健診制度への対応を支援

糖尿病等の生活習慣病予防の徹底を目指し、2008年4月からスタートする「特定健診制度」。医療機関や健診事業者は、検査結果等のデータの適切かつ効率的な処理・管理を実現すると共に、一般健診などとの「共同実施」が必要になるなど、制度変更による変化に対応していかなければならない。NTTPC コミュニケーションズは、特定健診制度に対応した一般健診・特定健診・特定保健指導サービス「Aescul Check」(エスカルチェック)によって、医療機関や健診事業者の特定健診制度実施をトータルで支援する。

「共同実施」への早期対応が 健診システムに求められる

2008年4月からスタートする「特定健診制度」。医療保険者には、糖尿病等の生活習慣病予防の徹底を図る目

的で、「特定健診」の実施、およびその結果に基づき必要とされた者に対する「特定保健指導」の実施が義務づけられる。

特定健診制度では、2015年度には生活習慣病有病者・予備群を2008年と比較して25%減少を政策目標に掲げている。この目標達成のためには受診率の向上が大前提となり、その実現には効果的・効率的な健診・保健指導の実施体制構築が欠かせない。

そして、同制度では検査結果や請求情報を電子化し、電子的標準データ形式でやり取りするなど、ITの活用が前提となっている。NTTPC コミュニケーションズの成松 亮氏は同制度でのIT活用について、「標準的な健診・保健指導プログラムの整備などと共に、健診や保健指導の実施機関の健診システムにおける効率的なデータ処理、保険者による適切なデータ管理も求められます」と語る。

目標達成の阻害要因として特に懸念されるのが、「共同実施」への健診システムへの対応である。特定健診は受診率向上のための効率化を果たすべく、健康増進法や介護保

険法などの各種制度に基づく各種健診と共同で実施するよう厚生労働省から通達されている。その結果、健診システムは費用を各健診へ適切に振り分けて請求処理を行う必要が生じる。

「電子的標準データ形式への対応といった特定健診向けの機能のみを既存の健診システムへ追加しても、共同実施に伴う請求の振り分けはできないので、特定健診には事実上対応できません。各健診を包括し、共同実施に対応可能な健診システムが不可欠です。また、特定保健指導の場合はこれまでにない新しい制度であり、対象者を6カ月にわたって指導するための支援やその記録など、新しい制度を効率的に運用するための保健指導システムが必要です」と指摘する成松氏。制度スタートまで約4カ月しか残された時間がない現在、対応に追われる医療機関や健診事業者の続出が予測される。

共同実施に伴う複雑な処理にも 対応できるサービス

このような課題に直面する医療機関や健診事業者のニーズに応えるサービスが、NTTPC コミュニケーションズの「Aescul Check」(エスカルチェック)だ。特定健診制度に対応した一般健診・特定健診・保健指導をITで総合的に支援する。

エスカルチェックでは、株式会社ケーアイエスが開発した健診・保健指導ソフトウェア CHECK-UPS を核に、ネッ



NTTPC コミュニケーションズ
新規事業ビジネス事業部 第二営業部
セールス・マネージャー
片野寛史氏



NTTPC コミュニケーションズ
新規事業ビジネス事業部 第二営業部 部長
成松 亮氏

を瞬時に送受信できる高速の回線を安価に利用できます」と話す。

さらには、IP-Membersの携帯端末向けとなる新サービス「Mobile IP-Members」を活用すれば、「特定保健指導などで患者様のご自宅へ訪問した際、携帯端末を用いてシステムを利用できます」といったメリットも生まれる。

小規模な医療機関でも 低コストで容易に導入・運用可能

健診システムに限らず医療システム全般にとって、環境に左右されず医療サービスを提供可能とするために、システムの信頼性が重要となる。エスカルチェックはデータセンターによる災害時への備え、ソフトウェアの更新管理なども合わせて提供する。

「専任のシステム管理者を置く余裕のない医療機関様や健診・保健指導事業者様でも、高い信頼性を保持したシステムの安定した環境のもと、特定健診や特定保健指導を実施できます」と成松氏

同時に、小規模な医療機関や健診・保健指導事業者では、情報システムの導入費用がネックとなるケースが少なくない。エスカルチェックはインターネット経由でソフトウェアをサービスとして配信する「SaaS」(Software as a Service)という形式で提供されている。「SaaS形式のため大がかりなシステム構築が必要なく、費用を安価に抑えられるので、小規模な病院様や診療所様にも無理なく短期間で導入できます」と成松氏は語る。

また、エスカルチェックは、厚生労働省のWebサイトで無償配布される特定健診制度用のフリーソフトウェアの開発元、株式会社ケーアイエスとの技術・販売提携のもとに展開されている点も強みの一つだ。

エスカルチェックは今後、ネットワークを介したさまざまなメニューを拡充していく予定だ。2010年までに、国内の医療機関や健診事業者、保健指導の約3万拠点への導入を目標に、これからの医療機関のニーズに応えるサービスを提供していく。

サービス概略図



お問い合わせ先



株式会社 NTTPC コミュニケーションズ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-25 住友神保町ビル
E-mail: aesculcheck@nttpc.co.jp
http://www.ip-members.com/aesculcheck/